鳴

【2年】

14画

おん メイ

なく・なる・ならす

なりたち 鳥と口との会意字で、〝鳥が鳴く〟ことを表した字。転じて、鳥に限らず、獣にも用い、更に物が音を発するのにも用いる。音を〝鳴らす〟。音が〝鳴る〟。

いみとじゅくご

▼鳴く。鳥や獣が声を発する。**鶏鳴**…❶鶏の鳴き声。❷鶏が鳴き出すころ。夜明け。昔は一番鶏(いちばんどり)の鳴く、午前二時ごろを指した。

▼音が鳴る。音を鳴らす。**雷鳴**…雷の音。**鳴動**…鳴り動くこと。**用例** 泰山鳴動して鼠一匹。(大騒ぎをした割に結果が貧弱なことをいう。)

鳴り物入り…❶楽器の伴奏を入れること。❷にぎやかで仰々しい宣伝。

▼声を出す。**悲鳴**…❶恐ろしい時などに出す叫び声。❷苦しい時に出す弱音。泣き言。**百家争鳴**…多くの文人(百家)が互いに論争し合うこと。

よみかた 鳴く・地鳴り・耳鳴り・鳴子・海鳴り・共鳴り

雅

13画

おん ガ

なりたち 鳥の形をかたどり、鳥の意味を表した隹(ふるとり)と、牙(が)との形声字。ガーガーと鳴く鳥という意味の字で〝鴉(からす)〟を表した字。カラスは反哺(ほん)(口移しに食べさせる)をする鳥(ひなの時、母鳥に反哺してもらい、母鳥が老いると、子が反哺するという)で、奥ゆかしいということで、〝奥ゆかしい・みやびやか〟の意味に用いられる。転じて、〝おおらか・正しい〟。

いみとじゅくご

▼みやびやか。奥ゆかしい。**風雅**…みやびやかで、俗っぽくないこと。**用例** 風雅の道。(詩歌や音楽などの芸術の道。)

優雅…❶優しくみやびやかなこと。動作などが上品なこと。❷ゆとりがある様子。**雅趣**…風雅な趣。みやびやかで面白味のある様子。

▼おおらか。**雅量**…人に対するおおらかな気持ち。**用例** 雅量のある人。

▼正しい。**雅楽**…俗楽に対して、正しい音楽の意味で、わが国の上古・中古に行われた宮廷音楽。

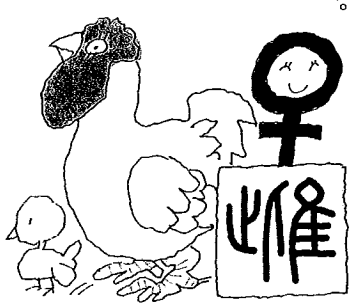
雌

13画

おん シ

め・めす

なりたち 足(止)を並べる(ヒは比の略)意味の此(し)と、隹(ふるとり)との会意形声字。雄の後に従って並ぶ〝めん鳥〟を表した字。転じて、鳥に限らず、動物の〝めす〟の意味に用いられる。また、〝弱い〟意味。



いみとじゅくご

▼雌。雌。弱い。**雌雄**…❶雌と雄。または、雌か雄か。❷どちらが弱くて、どちらが強いか。勝ち負け。勝負。**用例** 雌雄を決する。(優劣を決める。勝負をつける。)

雌伏…雌のように(雄に)服従する、という意味の言葉で、他日の活躍に備えて、実力を発揮せずに年月を過ごすこと。**用例** 雌伏すること十年、終(つい)に志を遂げた。

雌花…雌蕊(しべ)だけで、雄蕊(しべ)の無い花(単性花)。ヤナギ・マツ・クリなどの花。

反 雄花

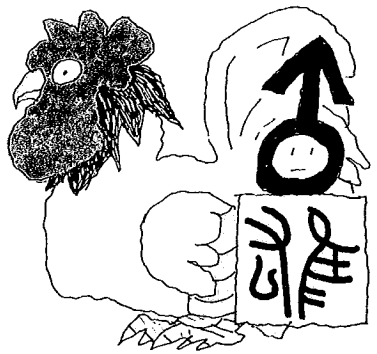
ミニ知識 雌雄異体=雄と雌の区別のあること。これに対して、カタツムリやミミズのように、雄と雌の区別のないものを雌雄同体という。高等動物は大体、雌雄異体である。

雄

12画

おん ユウ

お・おす



なりたち 宏(ゴ)(広い)の意味の左と、隹(ふるとり)との会意形声字。宏大(だい)な鳥、という意味の字で、体の大きな〝おすの鳥〟を表した。転じて、鳥に限らず〝おす(男)〟の意味にも用いる。

いみとじゅくご

▼雄。雄。男。**雄花**…雄蕊(しべ)だけで、雌蕊(しべ)の無い花(単性花)。**反** 雌花

▼雄々しい。勇ましい。**雄姿**…雄々しい姿。勇ましい姿。**用例** 彼の雄姿が目に残る。**雄飛**…勇ましく活躍すること。**用例** 海外に雄飛した人々。**雄大**…雄々しく大きいこと。規模が群を抜いて大きいこと。**用例** 雄大な眺め。**雄図**…雄大な企図(計画)。**雄弁**…力強く、堂々と話すこと。また、その話しぶり。

▼すぐれた人物。**英雄**…才知や武勇が群を抜いてすぐれていて大事業を成し遂げる人。**群雄**…多くの英雄。**両雄**…二人の英雄。**用例** 両雄並び立たず。